

令和元年度 関東森林管理局保護林管理委員会
議事概要

1 日時及び場所

令和元年 10 月 30 日（水曜日）13:30～15:45

関東森林管理局 2 階大会議室（群馬県前橋市）

2 議題

- (1) 令和元年度森林計画樹立箇所の保護林管理方針書の改定案について
- (2) 猿ヶ城岩オオフジシダ希少個体群保護林の区域拡張について（下越森林管理署管内）
- (3) 上野檜原シオジ等生物群集保護林の地帯区分の決定について（群馬森林管理署管内）
- (4) 平成 30 年度緑の回廊のモニタリング調査結果について
- (5) 小笠原諸島森林生態系保護地域保全管理計画の改定について
- (6) 保護林・緑の回廊における利活用等案件について（報告）
- (7) その他報告事項

3 議事概要

(1) 令和元年度森林計画樹立箇所の保護林管理方針書の改定案について（資料 1, 2, 5）

令和元年度樹立森林計画区における保護林について、昨年度実施の保護林モニタリング調査結果及び現状評価を反映した保護林管理方針書改定案について説明を行った。モニタリングの実施間隔については、対象となる 22 の保護林のうち、獣害や病虫害が確認された 8 箇所の保護林は森林への影響を注視するため 5 年間隔とし、森林の状況に変化がないと評価される 14 箇所の保護林については 10 年間隔とした。また、保護林管理方針書の内容の充足を図るため、保護林の取扱方針の追記、設定履歴等の記載を行う等の改定案については了承された。

（主な意見）

- ・ 管理方針書に添付されている写真については、撮影した場所や方向がわかるように図示やキャプションが付けてあると良い。
- ・ 管理方針書の「モニタリングの実施間隔及び留意事項」欄については、それぞれの保護林が持つ固有の問題点について記載する必要がある。

(2) 猿ヶ城岩オオフジシダ希少個体群保護林の区域拡張について（資料 3）

保護林の区域外となっている箇所に保護対象種であるオオフジシダの群落が確認されたことから、これを保護林の区域に含めることとした拡張案が了承された。

(3) 上野檜原シオジ等生物群保護林の地帯区分の決定について（資料 4）

現状の保護林区域を全て保存地区とし、今後伐採の可能性のある隣接国有林に保全利用地

区を設定する保護林区域の拡張案について了承された。

(主な意見)

- ・ シオジは地形の攪乱に伴って更新する種であり、ある程度広がりのある区域が保存地区として必要と考える。十分な保存地区が設定されたのは良いことである。
- ・ ニホンジカが増加しているエリアでは、センサーカメラ等を用いた調査などを行いシカの密度を把握する必要があると思われる。

(4) 平成 30 年度緑の回廊のモニタリング調査結果について (資料 6)

調査結果について、「鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊」は状況の変化は無かったが、「日光・吾妻山地緑の回廊」「秩父山地緑の回廊」については、ニホンジカの影響が確認された。

(主な意見)

- ・ 秩父山地緑の回廊については、シカの食害が深刻な地域であり、最近では忌避植物であるトリカブトやコバイケイソウも採食し始めている。捕獲も困難な地域であるので、今以上に積極的な保全が必要と考える。

(5) 小笠原諸島森林生態系保護地域保全管理計画の改定について (資料 7)

今年度小笠原諸島森林生態系保護地域部会で検討される「小笠原諸島森林生態系保護地域保全管理計画」改定案の審議状況について報告した。

(6) 保護林・緑の回廊における利活用等案件について (報告)

昨年度以降の保護林・緑の回廊内における利活用案件の処理状況についての報告を行った。

(7) その他報告事項

平成 31 年度保護林モニタリング調査等事業の内容及び今年度新たに設置した「保護林モニタリング評価専門委員会」について説明した。

以上